

講義シラバス									
科目名	就職講座	必修 選択の別	必修	開講 区分	3S(前期)	授業 形態	講義	総時間数	30 時間
学科	トータルビューティ科			コース		学年	2年生		
講師名	白山かがり	講師プロフィール	エステティシャンとして顧客管理、店舗管理責任者として従事した経験を持つ。 日本エステティック協会認定講師、日本エステティック業協会認定講師、日本アロマ環境協会アロマテラピーインストラクター、CIDESCO国際ディプロマを保持。						
【授業を通じての到達目標】									
社会人、企業人として、企業社会にソフトランディングするために、社会人の仕組みやマナーについて理解し、対応力を身につける。 インナービューティを学び、内面から美しくなる方法を学び、生活で実践できるようになる。									
【学習内容】									
社会人、企業人として、企業社会にソフトランディングするために、社会人の仕組みやマナーについて理解し、対応力を身につける。 接客業としての考え方を身につけ、美容・ファッション業界に従事する者として準備する。									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習】				
各単元毎に担任が準備する。筆記用具、メモ帳など。					特になし				
回	授業計画			回	授業計画				
1	【授業テーマ】 SNSについて インナービューティについて			9	【授業テーマ】 伝言メモの書き方				
	【到達目標】 ・等価交換について考え、自己実現のために必要なことを考え、何を習得するか具体的に考える。 ・インナービューティの基本的な考えを学び、実践できるようになる。				【到達目標】 ・電話を受けた時の伝言メモの作成方法を学び、実践できるようになる。				
2	【授業テーマ】 社会人としての行動規範 インナービューティについて			10	【授業テーマ】 感染症について学び、正しい知識を身につけて日常に活かす				
	【到達目標】 ・社会人としての行動規範を学び、実践できるようになる。 ・インナービューティを学び、実践できるようになる。(食べすぎた時はメンテナンスが大切)				【到達目標】 ・感染の種類について知り、美容業界に起こりえる感染症を考えることができるようになる。				
3	【授業テーマ】 給与の仕組みを知り、給料明細の見方を知る。			11	【授業テーマ】 コロナについて考え、今後の生活の在り方を考える。				
	【到達目標】 ・総支給額と手取り金額の関係を知り、イメージができるようになる。				【到達目標】 ・集団生活におけるコロナ対策を考え、必要な衛生対策を実践できるようになる。				
4	【授業テーマ】 賞与について			12	【授業テーマ】 書類送付について				
	【到達目標】 ・賞与の仕組みについて学び、理解する。				【到達目標】 ・書類送付の仕方について学び、実践できるようになる。				
5	【授業テーマ】 雇用形態について			13	【授業テーマ】 就職活動状況について				
	【到達目標】 雇用形態について学び、自分の将来に合わせて就職活動をするを考えられるようになる。				【到達目標】 ・キャリアセンターより、現在の就職事情を聞き今後の自分の将来を考える。				
6	【授業テーマ】5/29 社会人としての諸対応①			14	【授業テーマ】 組織における役割について				
	【到達目標】 ・組織内での人間関係の作り方を学び、卒後の自分をイメージできるようになる。				【到達目標】 ・組織における役割について知り、自分のキャリアプランをイメージできるようになる。				
7	【授業テーマ】 社会人としての諸対応②			15	【定期試験内容】 前期で身につけた知識の確認				
	【到達目標】 ・組織内での人間関係の作り方を学び、卒後の自分をイメージできるようになる。				【評価項目とフィードバック】 ・社会人としてのマナーや常識を持ち合わせているか。				
8	【授業テーマ】 社会人としての諸対応③			【成績評価の方法と基準】 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。					
	【到達目標】 ・組織内での人間関係の作り方を学び、卒後の自分をイメージできるようになる。								
【履修に当たっての心構え・留意点】									
・必要があればメモを取り、習得したことは即実践する。									

講義シラバス									
科目名	フェイシャルエステティック	必修 選択の別	必修	開講 区分	3S(前期)	授業 形態	演習	総時間数	36 時間
学科	トータルビューティ科			コース	エステコース	学年	2年生		
講師名	川口 奈美	講師プロフィール	スリムビューティハウスにて東北北海道地区の社員教育を統括。後にエステティックサロンを個人開業。同時にベルエポックで講師を務める。CIDESEOインターナショナルエステティシャン。日本エステティック協会認定講師、認定衛生管理者。AEAインターナショナルエステティシャン。AEA認定講師。日本エステティック試験センター登録試験官。AEA認定試験アンバサダー。						
【授業を通じての到達目標】									
プロとして必要なフェイシャル実技理論、技術を身に付ける。 フェイシャルコンサルテーションに必要な知識と理論、カウンセリング技術を身に付ける									
【学習内容】									
・AEA上級認定試験に合格できるレベルのフェイシャル技術、肌分析技術を習得する ・ダブルクレンジング、ディープクレンジング、電気機器の実技理論と技術を習得する									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習】				
・実習道具一式 ・AEA心身生理学 ・AEA皮膚科学 ・フェイシャル実技理論									
回	授業計画				授業計画				
1	【授業テーマ】 ①AEA上級認定試験対策として適切な技術を習得する ②AEA上級認定試験対策として適切なコンサルテーション技術を習得する			9	【授業テーマ】 ①コンサルテーションに必要な肌分析技術を習得する ②ディープクレンジングの実技理論と技術を習得する				
	【到達目標】 ①オリエンテーション、実習：クレンジング、ハンド洗顔、拭取り、仕上げ ②AEAコンサル：ストレスと肌、生活状態～食生活				【到達目標】 ①クレンジング、ブラシクレンジング、スチーマー 理論、実習 ②肌分析（皮膚の状態を図示）実習：クレンジング、肌分析				
2	【授業テーマ】 ①AEA上級認定試験対策として適切な技術を習得する ②AEA上級認定試験対策として適切なコンサルテーション技術を習得する			10	【授業テーマ】 ①コンサルテーションに必要な肌分析技術を習得する ②電気機器の実技理論と技術を習得する				
	【到達目標】 ①実習：クレンジング、ハンド洗顔、拭取り、マッサージ、パック、仕上げ ②AEAコンサル：健康状態～常備医薬品				【到達目標】 ①実習：クレンジング、肌分析、ブラシクレンジング、スチーマー ②肌分析（皮膚トラブルの項目）実習：クレンジング、肌分析				
3	【授業テーマ】 ①AEA上級認定試験対策として適切な技術を習得する ②AEA上級認定試験対策として適切なコンサルテーション技術を習得する			11	【授業テーマ】 電気機器の実技理論と技術を習得する				
	【到達目標】 ①実習：クレンジング、ハンド洗顔、拭取り、マッサージ、パック、仕上げ ②AEAコンサル：アレルギー～使用化粧品、図示				【到達目標】 ①バター：目的効果、禁忌、留意点 実習 ②イオン導入：目的効果、経皮吸収、禁忌、化粧品 実習				
4	【授業テーマ】 ①AEA上級認定試験対策として適切な技術を習得する ②ディープクレンジングの実技理論と技術を習得する			12	【授業テーマ】 電気機器の実技理論と技術を習得する				
	【到達目標】 ①実習：クレンジング、コンサル、マッサージ、パック、仕上げ ②AEAコンサル：肌分析、スキントラブル、化粧品成分				【到達目標】 定期試験 ①イオン導入：極性効果、留意点 実習 ②デイスインクラステーション 理論、実習				
5	【授業テーマ】 ①AEA上級認定試験対策として適切な技術を習得する ②コンサルテーション技術とディープクレンジングの技術を習得する			13	【授業テーマ】 電気機器の実技理論と技術を習得する				
	【到達目標】 ①実習：クレンジング、コンサル、マッサージ、パック、仕上げ ②角質除去（各種） 理論、実習				【到達目標】 ①ファラディック：目的効果、禁忌、留意点 実習 ②ファラディック：表情筋 実習				
6	【授業テーマ】 ①AEA上級認定試験対策として適切な技術を習得する ②ディープクレンジングの実技理論と技術を習得する			14	【授業テーマ】 ディープクレンジング、電気機器の実技理論、技術を習得する				
	【到達目標】 ①実習：クレンジング、コンサル、マッサージ、パック、仕上げ ②コンサル ～ 角質除去（各種） 実習				【到達目標】 ①クレンジング、角質除去、イオン導入、パック ②クレンジング、ブラシ、ファラディック、バター、マッサージ				
7	【授業テーマ】 ①コンサルテーションに必要な肌分析技術を習得する ②AEA上級認定試験対策として適切な技術を完成する			15	【定期試験内容】 ディープクレンジング、電気機器の実技理論、技術を習得する				
	【到達目標】 ①吸引・圧出 理論、実習 ②実習：クレンジング、コンサル、マッサージ、パック、仕上げ（模擬試験）				【評価項目とフィードバック】 ①クレンジング、角質除去、イオン導入、パック ②クレンジング、ブラシ、ファラディック、バター、マッサージ				
8	【授業テーマ】 ①コンサルテーションに必要な肌分析技術を習得する ②ディープクレンジングの実技理論と技術を習得する			【成績評価の方法と基準】					
	【到達目標】 ①コンサル ～ 吸引・圧出、実習 ②肌分析（顧客の皮膚に関する情報） 実習：クレンジング、肌分析			●評価 A評価（90～100点）/B評価（80～89点）/C評価（70～79点）/D評価（60～69点） E評価（出席不良・評価資格喪失）/F評価（0～59点・不合格） ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。					
【履修に当たっての心構え・留意点】									
遅刻・欠席の禁止、身だしなみの注意、授業前準備と着席の指導、挨拶・返事の徹底、授業態度の指導、 6月13日(土)AEA上級認定試験口									

講義シラバス									
科目名	トータルエステティック	必修 選択の別	必修	開講 区分	3S(前期)	授業 形態	演習	総時間数	180 時間
学科	トータルビューティ科			コース	エステコース	学年	2年生		
講師名	川口 奈美	講師プロフィール	スリムビューティハウスにて東北北海道地区の社員教育を統括。後にエステティックサロンを個人開業。同時にベルエポックで講師を務める。CIDESEOインターナショナルエステティシャン。日本エステティック協会認定講師、認定衛生管理者。AEAインターナショナルエステティシャン。AEA認定講師。日本エステティック試験センター登録試験官。AEA認定試験アンバサダー。						
【授業を通じての到達目標】									
フロとして必要なボディ実技理論、ボディ機器技術を得得する。 また、ボディコンサルテーションに必要な知識と瘦身理論、ボディ分析技術を得得する。									
【学習内容】									
・AEA上級認定試験に合格できるボディ実技理論とコンサルテーション技術を得得する ・コンサルテーションに必要なボディ分析技術を得得する ・各種プレトリートメントの技術と理論を得得する									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習】				
① ベビーパウダー、ポリ袋 ② 電卓、メジャー、色ペン、AEA「皮膚科学」									
回	授業計画				授業計画				
1	【授業テーマ】 ①ボディ機器「G5」の技術と理論を得得する ②AEA上級認定試験対策として適切なコンサルテーション技術を得得する				9	【授業テーマ】 ①プレトリートメント(角質除去)の技術と理論を得得する ②コンサルテーションに必要なボディ分析技術を得得する			
	【到達目標】 オリエンテーション ①G5：目的効果、適応、操作方法(実習:下肢背面) ②AEAコンサル: ボディケアとストレス、生活状態 ～ 食生活					【到達目標】 ①角質除去＝タイプ別、(目的効果、化粧品成分)、実習＝下肢 ②ボディ分析：マッスルトーン、体型(胚体型)			
2	【授業テーマ】 ① ボディ機器「G5」の技術と理論を得得する ② コンサルテーションに必要なボディ分析技術を得得する				10	【授業テーマ】 ①プレトリートメント(温熱)の技術と理論を得得する ②コンサルテーションに必要なボディ分析技術を得得する			
	【到達目標】 ①G5：施術上の留意点 (実習:下肢背面、腰背部、上肢) ②AEAコンサル: 健康状態 ～ 常備医薬品					【到達目標】 ①温熱＝ヒートマット、遠赤外線 (目的効果、禁忌、留意点)、実習 ②ボディ分析：図示、皮膚病変、脂肪・冷え・むくみ・セルライトの見分け			
3	【授業テーマ】 ① ボディ機器「G5」の技術と理論を得得する ② コンサルテーションに必要なボディ分析技術を得得する				11	【授業テーマ】 ①ボディパックの技術と理論を得得する ②コンサルテーションに必要なボディ分析技術を得得する			
	【到達目標】 ①G5：禁忌事項 (実習:腰背部、上肢、下肢前面) ②AEAコンサル: アレルギー ～ 顧客要望、BMI、図示					【到達目標】 ①ボディパック (目的効果、適応、化粧品成分)、実習 ②ボディ分析：プラムラインの使用法、姿勢分析			
4	【授業テーマ】 ① ボディ機器「G5」の技術と理論を得得する ② コンサルテーションに必要なボディ分析技術を得得する				12	【授業テーマ】 ①プレトリートメント、機器(洗浄～パック)の技術と理論を得得する ②コンサルテーションに必要なボディ分析技術を得得する			
	【到達目標】 ①G5：(実習:下肢前面、腹部) ②AEAコンサル: マッスルトーン、ホームケアアドバイス					【到達目標】 定期試験 ①洗浄、角質除去、ガルバニック、パック ②ボディ分析：姿勢の改善、実演する運動			
5	【授業テーマ】 ① ボディ機器「G5」、「ガルバニック」の技術と理論を得得する ② コンサルテーションに必要なボディ分析技術を得得する				13	【授業テーマ】 ①プレトリートメント、機器(洗浄～パック)の技術と理論を得得する ②コンサルテーションに必要なボディ分析技術を得得する			
	【到達目標】 ①G5：(実習:腹部、下肢背面)、ガルバニック:目的効果、禁忌、粧剤 ②AEAコンサル: むくみ、セルライト					【到達目標】 ①ボディ分析、洗浄、遠赤外線、G5、パック、仕上げ ②ボディ分析、洗浄、角質除去、ガルバニック			
6	【授業テーマ】 ① ボディ機器「ガルバニック」の技術と理論を得得する ② コンサルテーションに必要なボディ分析技術を得得する				14	【授業テーマ】 ①プレトリートメント(洗浄～パック)の技術と理論を得得する ②コンサルテーションに必要なボディ分析技術を得得する			
	【到達目標】 ①ガルバニック：直流とは、極性効果、電極下の紅斑(実習:操作方法、下肢) ②AEA上級認定対策：コンサルテーション～マッサージ、仕上げ(通し練習)					【到達目標】 ①洗浄、角質除去、ガルバニック、パック、仕上げ ②ボディ分析、遠赤外線、G5、口頭質問練習 (ボディの状態の説明の仕方等)			
7	【授業テーマ】 ① ボディ機器「ガルバニック」の技術と理論を得得する ② コンサルテーションに必要なボディ分析技術を得得する				15	【定期試験内容】 ①プレトリートメント(洗浄～パック)の技術と理論を得得する ②コンサルテーションに必要なボディ分析技術を得得する			
	【到達目標】 ①ガルバニック：両極間効果、注意事項 (実習:下肢、上肢、臀部) ②AEA上級認定対策：コンサルテーション～マッサージ、仕上げ(模試)					【評価項目とフィードバック】 ①洗浄、角質除去、ガルバニック、パック、仕上げ ②ボディ分析、遠赤外線、G5			
8	【授業テーマ】 ① プレトリートメント(洗浄、仕上げ)の技術と理論を得得する ② コンサルテーションに必要なボディ分析技術を得得する				【成績評価の方法と基準】 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
	【到達目標】 ①洗浄、ブラシ、酵素 (目的効果、化粧品成分)、実習＝下肢 ②コンサル:身長、体重、BMI、マッスルトーン、サイズチェックの方法								
【履修に当たっての心構え・留意点】									
遅刻・欠席の禁止、身だしなみの注意、授業前準備と着席の指導、挨拶・返事の徹底、授業態度の指導、6月13日(土)AEA上級認定試験									

講義シラバス									
科目名	学生サロンⅠ	必修 選択の別	必修	開講 区分	通年	授業 形態	演習	総時間数	36 時間
学科	トータルビューティ科			コース	エステコース	学年	2年生		
講師名	藤村 麗	講師プロフィール	エステティックの実務を9年。サロン勤務ではフェイシャルトリートメント/ボディトリートメント/各トリートメントメニューの作成/脱毛/カウンセラーも行っていました。また、現在もエステティシャンとしてサロンに勤務しております。実際の現場で通用するスキルを皆さんに身につけてもらえるように努めます。						
【授業を通じての到達目標】									
サロンワークを経験して、サロン運営の仕組み・仕事内容を理解し、現場で通用するスキルを身につける。【気配り、目配り、応用力、対応力、コミュニケーション能力、技術力】									
【学習内容】									
サロンワークを通してエステティシャンの仕事を理解しエステティシャンとして働くイメージ、サロンを運営するイメージを持つ。									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習】				
配布するプリント/筆記用具/シラバス/AEAサロンマネジメント									
回	授業計画			回	授業計画				
1	【授業テーマ】 4/16: サロン業務を学び、エステティシャンという職業を理解する。《10点》			9	【授業テーマ】 6/25: 顧客ニーズに合わせた新メニューの提供方法を学ぶ。相モデルで実践する。《10点》				
	【到達目標】 サロン開設のシュミレーションを通じて仕事内容を理解できるようになる。カルテの記入、顧客管理が出来るようになる。				【到達目標】 新メニューの説明が出来るようになる。相モデルで行いスムーズに動けるようになる。				
2	【授業テーマ】 4/23: 顧客ニーズを知り、料金をいただく責任について学ぶ《10点》			10	【授業テーマ】 7/2: サロン運営を通してエステティシャンという職業を体験する。チームワークの大切さを学ぶ。③				
	【到達目標】 顧客ニーズに合ったメニューの考案が出来るようになる。サロンでのトラブルの事例を知り、クレーム対応が出来るようになる。				【到達目標】 エステティシャンとしての立ち振る舞い、業務内容の実践が出来るようになる。チームワークの大切さを知る。顧客が満足する技術、接客を提供できるようになる。				
3	【授業テーマ】 5/7: カウンセリングについて学ぶ《10点》			11	【授業テーマ】 7/16: サロン運営を通してエステティシャンという職業を体験する。チームワークの大切さを学ぶ。④				
	【到達目標】 カウンセリングの流れ、種類を学びメニューその方に合った施術メニューを提案出来るようになる。顧客アンケートなどから今後のスキルアップにつながる方法を習得する。				【到達目標】 エステティシャンとしての立ち振る舞い、業務内容の実践が出来るようになる。チームワークの大切さを知る。顧客が満足する技術、接客を提供できるようになる。				
4	【授業テーマ】 5/14: プレオープンに向けての準備①			12	【授業テーマ】 8/20: 全メニューの総練習				
	【到達目標】 流れを時間内にできるようになる。【お迎え、カウンセリング、施術、お見送り】				【到達目標】 苦手を克服。				
5	【授業テーマ】 5/21: プレオープンに向けての準備②			13	【授業テーマ】 9/3: サロン運営を通してエステティシャンという職業を体験する。チームワークの大切さを学ぶ。⑤				
	【到達目標】 流れを時間内にできるようになる。【お迎え、カウンセリング、施術、お見送り】				【到達目標】 エステティシャンとしての立ち振る舞い、業務内容の実践が出来るようになる。チームワークの大切さを知る				
6	【授業テーマ】 5/28: サロン運営を通してエステティシャンという職業を体験する。チームワークの大切さを学ぶ。①			14	【授業テーマ】 9/10: サロン運営を通してエステティシャンという職業を体験する。チームワークの大切さを学ぶ。⑥				
	【到達目標】 エステティシャンとしての立ち振る舞い、業務内容の実践が出来るようになる。チームワークの大切さを知る				【到達目標】 エステティシャンとしての立ち振る舞い、業務内容の実践が出来るようになる。チームワークの大切さを知る				
7	【授業テーマ】 6/4: サロン運営を通してエステティシャンという職業を体験する。チームワークの大切さを学ぶ。②			15	【定期試験内容】 9/17: サロン運営で得た経験を今後に活かせるように話し合う。《50点》				
	【到達目標】 エステティシャンとしての立ち振る舞い、業務内容の実践が出来るようになる。チームワークの大切さを知る				【評価項目とフィードバック】 定期試験を通して振り返り、目標や改善点、やるべきことを見つける事が出来るようになる。				
8	【授業テーマ】 6/18: 売り上げの必要性について学ぶ《10点》			【成績評価の方法と基準】					
	【到達目標】 サロンの利益を考えた行動が出来るようになる			●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。					
【履修に当たっての心構え・留意点】									
授業出席・遅刻の厳重と指導/忘れ物・授業態度の指導/授業内容の把握確認									

講義シラバス									
科目名	衣装デザイン企画Ⅱ	必修 選択の別	必修	開講 区分	3S(前期)	授業 形態	演習	総時間数	90 時間
学科	トータルビューティ科			コース	ファッションコース	学年	2年生		
講師名	畑 育実	講師プロフィール	有限会社DADDIKUfashion代表。TV・CM・タレント等のスタイリスト&ヘアメイクアーティスト、企業ではイメージカウンセラーとして活動。厚生労働省よりものづくりマイスター認定を受け国家試験にも携わる						
【授業を通じての到達目標】									
企業等の課題に積極的、協調性をもって取り組み、服の構造と特徴を知り、洋裁の技術を身につけ幅広い分野で活躍できる業界人を目指す為の計画性と具体的な目標と行動ができる。									
【学習内容】									
企業等の課題への取り組み、ミシンを使用した洋裁技術の向上									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習】				
回	授業計画			回	授業計画				
1	【授業テーマ】 企業等の課題への取り組み			9	【授業テーマ】 企業等の課題への取り組み				
	【到達目標】 服の構造と特徴を知り、正確な洋裁技術で完成に向けて積極的に取り組むことができる				【到達目標】 服の構造と特徴を知り、正確な洋裁技術で完成に向けて積極的に取り組むことができる				
2	【授業テーマ】 企業等の課題への取り組み			10	【授業テーマ】 企業等の課題への取り組み				
	【到達目標】 服の構造と特徴を知り、正確な洋裁技術で完成に向けて積極的に取り組むことができる				【到達目標】 服の構造と特徴を知り、正確な洋裁技術で完成に向けて積極的に取り組むことができる				
3	【授業テーマ】 企業等の課題への取り組み			11	【授業テーマ】 企業等の課題への取り組み				
	【到達目標】 服の構造と特徴を知り、正確な洋裁技術で完成に向けて積極的に取り組むことができる				【到達目標】 服の構造と特徴を知り、正確な洋裁技術で完成に向けて積極的に取り組むことができる				
4	【授業テーマ】 企業等の課題への取り組み			12	【授業テーマ】 企業等の課題への取り組み				
	【到達目標】 服の構造と特徴を知り、正確な洋裁技術で完成に向けて積極的に取り組むことができる				【到達目標】 服の構造と特徴を知り、正確な洋裁技術で完成に向けて積極的に取り組むことができる				
5	【授業テーマ】 企業等の課題への取り組み			13	【授業テーマ】 企業等の課題への取り組み				
	【到達目標】 服の構造と特徴を知り、正確な洋裁技術で完成に向けて積極的に取り組むことができる				【到達目標】 服の構造と特徴を知り、正確な洋裁技術で完成に向けて積極的に取り組むことができる				
6	【授業テーマ】 企業等の課題への取り組み			14	【授業テーマ】 企業等の課題への取り組み				
	【到達目標】 服の構造と特徴を知り、正確な洋裁技術で完成に向けて積極的に取り組むことができる				【到達目標】 服の構造と特徴を知り、正確な洋裁技術で完成に向けて積極的に取り組むことができる				
7	【授業テーマ】 企業等の課題への取り組み			15	【定期試験内容】 服の構造と特徴を知り、正確な洋裁技術で完成に向けて積極的に取り組み完成することができる				
	【到達目標】 服の構造と特徴を知り、正確な洋裁技術で完成に向けて積極的に取り組むことができる				【評価項目とフィードバック】 取り組み姿勢、技術、準備				
8	【授業テーマ】 企業等の課題への取り組み			【成績評価の方法と基準】					
	【到達目標】 服の構造と特徴を知り、正確な洋裁技術で完成に向けて積極的に取り組むことができる			●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。					
【履修に当たっての心構え・留意点】									
授業態度、事前準備、準備物の管理の指導									

講義シラバス									
科目名	販売実習	必修 選択の別	必修	開講 区分	通年	授業 形態	演習	総時間数	360 時間
学科	トータルビューティ科			コース	ファッションコース	学年	2年生		
講師名	田村彩乃・富士谷麻美	講師プロフィール	担当店舗を持ち現場でお客様に接客しながら、パーニッシュカンパニー人事部として社内研修・採用を行っている。						
【授業を通じての到達目標】									
OJT(On the Job Tranning～実際の現場で働きながら業務の訓練をする。)を通じてお客様心理にもとづいた挨拶からお見送りまでの取得									
【学習内容】									
現場実習									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習】				
回	授業計画			回	授業計画				
1	【授業テーマ】 オリエンテーション(自分自身の適正を知る)			9	【授業テーマ】 店舗OJT				
	【到達目標】 履歴書の書き方を学び、自身の環境を決める				【到達目標】 接客に繋がるアプローチの習得				
2	【授業テーマ】 入店前にルールを学ぶ			10	【授業テーマ】 店舗OJT				
	【到達目標】 各SHOPのコンセプト、ルールを知り、服装、メイク等の準備をしっかり行う				【到達目標】 接客に繋がるアプローチの習得				
3	【授業テーマ】 入店前にルールを学ぶ			11	【授業テーマ】 店舗OJT				
	【到達目標】 ロールプレイングで基本の接客の振り返り				【到達目標】 接客に繋がるアプローチの習得				
4	【授業テーマ】 店舗OJT			12	【授業テーマ】 店舗OJT				
	【到達目標】 挨拶・所作等、基本のWELCOME体制の習得				【到達目標】 お迎え入れ～お見送りまでの基本の接客の習得				
5	【授業テーマ】 店舗OJT			13	【授業テーマ】 店舗OJT				
	【到達目標】 挨拶・所作等、基本のWELCOME体制の習得				【到達目標】 お迎え入れ～お見送りまでの基本の接客の習得				
6	【授業テーマ】 店舗OJT			14	【授業テーマ】 店舗OJT				
	【到達目標】 挨拶・所作等、基本のWELCOME体制の習得				【到達目標】 お迎え入れ～お見送りまでの基本の接客の習得				
7	【授業テーマ】 店舗OJT			15	【定期試験内容】 店舗OJT				
	【到達目標】 接客に繋がるアプローチの習得				【評価項目とフィードバック】 お迎え入れ～お見送りまでの基本の接客の習得				
8	【授業テーマ】 店舗OJT			【成績評価の方法と基準】 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。					
	【到達目標】 接客に繋がるアプローチの習得								
【履修に当たっての心構え・留意点】									
一緒に働くSTAFFとのコミュニケーション/笑顔で自分から挨拶									

講義シラバス									
科目名	ショッピングプランニング	必修 選択の別	必修	開講 区分	3S(前期)	授業 形態	演習	総時間数	90 時間
学科	トータルビューティ科			コース	ファッションコース	学年	2年生		
講師名	高木 佳子		講師プロフィール 大手化粧品メーカーに22年間在籍し、美容マネージャーなどを歴任。接遇・社員教育などで寄与。その間に化粧品検定1級を取得。その後、北海道の化粧品メーカー役員として、商品企画制度や社員育成研修制度などを確立し、アメリカにてハリウッドエアーの資格を取得。マナーOJTインストラクターや化粧品検定コスモコンシェルジュを取得後、現在は心とお肌の健康をテーマにサロンを自営すると共に、企業研修や高校での模擬面接などを担当。						
【授業を通じての到達目標】									
訪日外国人を「おもてなし」の意義を理解し、インバウンドに関わる知識と対応につなげる									
【学習内容】									
インバウンドの概要・異文化の理解し、訪日外国人の対応につなげる 他国の文化や風習を理解し、外国人接客を学ぶ									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習】				
筆記用具					業界インバウンド対策について、日頃からリサーチする 外国人旅行者に興味をもち、現状を観察する				
回	授業計画			回	授業計画				
1	【授業テーマ】 4/15 ～オリエンテーション～この授業の目的と到達目標の確認口			9	【授業テーマ】 6/24 国の違いを受け止め、お客様に快適に過ごしてもらう創意工夫を考える				
	【到達目標】 シラバスの内容を理解する。次回からの授業の心構え・準備を整える インバウンドとは何か、インバウンドの状況を理解する				【到達目標】 小テスト：2 異文化を理解する。世界を知り、日本を知ってもらう 各国旅行者に対する理解・・・アメリカ(好み・ニーズを知る)口				
2	【授業テーマ】 4/22 インバウンドの旅行動向・期待と活動／外国人から見た日本を知る			10	【授業テーマ】 7/1 異文化コミュニケーションを理解する ①				
	【到達目標】 小テスト：2 訪日外国人の求めていることを理解し、対応につなげる インバウンドの過去の状況からみた現状と動向を理解する				【到達目標】 小テスト：2 各自、行きたい国・興味のある国について理解を深める				
3	【授業テーマ】 5/6 インバウンドと決済・免税制度を知る 国籍・地域別の訪日外国人、インバウンドの消費者動向口			11	【授業テーマ】 7/15 異文化コミュニケーションを理解する ②				
	【到達目標】 小テスト：2 訪日外国人旅行者への対応姿勢／対応の基本とポイント口 訪日外国人の満足度と不満を理解する口				【到達目標】 小テスト：10 各自、行きたい国・興味のある国について理解を深める・・・発表口 口				
4	【授業テーマ】 5/13 国の違いを受け止め、お客様に快適に過ごしてもらう創意工夫 を考える 口			12	【授業テーマ】 8/19 世界の異文化の理解・・・世界の旅行者を受け入れるために知っておくこと 接客8大用語を使い、訪日外国人へ「おもてなし」を伝える ①				
	【到達目標】 小テスト：2 異文化を理解する。世界を知り、日本を知ってもらう 各国旅行者に対する理解・・・中国(好み・ニーズを知る)口				【到達目標】 小テスト：2 伝える・伝わるコミュニケーションを楽しむ。外国人に対する接遇ジェスチャーの違い 身につけたいフレーズ①～⑤ 指差しツール活用				
5	【授業テーマ】 5/20 国の違いを受け止め、お客様に快適に過ごしてもらう創意工夫 を考える			13	【授業テーマ】 9/2 接客8大用語を使い、訪日外国人へ「おもてなし」を伝える ②口				
	【到達目標】 小テスト：2 異文化を理解する。世界を知り、日本を知ってもらう 各国旅行者に対する理解・・・韓国(好み・ニーズを知る)				【到達目標】 小テスト：2 インバウンドのお客様を想定し、接客用語、指差しツールを使い 外国語で接客を考える				
6	【授業テーマ】 5/27 国の違いを受け止め、お客様に快適に過ごしてもらう創意工夫を考える			14	【授業テーマ】 9/9 接客8大用語を使い、訪日外国人へ「おもてなし」を伝える ③口				
	【到達目標】 小テスト：2 異文化を理解する。世界を知り、日本を知ってもらう 各国旅行者に対する理解・・・ヨーロッパ各国(好み・ニーズを知る)口				【到達目標】 小テスト：2 インバウンドのお客様を想定し、接客用語、指差しツールを使い 外国語での接客をペアで完成させる・・・接客プランニングシート作成				
7	【授業テーマ】 6/10 国の違いを受け止め、お客様に快適に過ごしてもらう創意工夫を考える			15	【定期試験内容】 9/16 定期試験：50点				
	【到達目標】 小テスト：5点 課題授業： インバウンドを知る／感じる インバウンドの状況を知り、対策を考える口				【評価項目とフィードバック】 外国語ロールプレイング～お客様を想定し、ペアで考えた接客の流れをの実施				
8	【授業テーマ】 6/17 国の違いを受け止め、お客様に快適に過ごしてもらう創意工夫を考える			【成績評価の方法と基準】					
	【到達目標】 小テスト：15点 異文化を理解する。課外授業での状況を発表資料にまとめる。 インバウンドの状況と快適に過ごしてもらうための工夫・・・各自発表			●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。					
【履修に当たっての心構え・留意点】									
授業出席・遅刻の厳重管理と指導/忘れ物、授業態度の指導口 口									

講義シラバス									
科目名	スキンケアカウンセリング	必修 選択の別	必修	開講 区分	3S(前期)	授業 形態	演習	総時間数	45 時間
学科	トータルビューティ科			コース	メイクコース	学年	2年生		
講師名	大槻 亜由美	講師プロフィール	国産化粧品メーカー退職後、専門学校講師として主にスキンケアの授業を担当。ビューティーカウンセラーとして現在も店頭活動を行っている。						
【授業を通じての到達目標】									
お肌に対しての知識を更に深めスキンケアカウンセリングを行えるようになる。的確なスキンケアアドバイス、説得力のあるタッチアップが行えるようになる。お客様に愛されるBAを目指し接客マナーのスキルを向上させる									
【学習内容】									
スキンケアカウンセリングの方法を習得。お肌悩みに対してのヒアリング～アドバイス～タッチアップ～商品選択～ホームケアアドバイスまでの一連の流れをスムーズに行える様に相モデルで実習を行う									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習】				
筆記用具・ノート・エタノール・スキンケア一式・ビューティープラン									
回	授業計画			回	授業計画				
1	【授業テーマ】 スキンケアカウンセリングオリエンテーション			9	【授業テーマ】 お肌悩み「乾燥」とスキンケアカウンセリング				
	【到達目標】 スキンケアカウンセリングの到達目標を理解する。カウンセリングの一連の流れを理解する。必要ツールを理解する。グループワークでお肌悩みに対してのヒアリング法～商品選択までを行えるようになる				【到達目標】 乾燥でお悩みのお客様への確なスキンケアカウンセリング～タッチアップ～商品選択～ビューティープラン作成～ホームケアアドバイス～サンプリング～お見送りまでを行うことが出来る				
2	【授業テーマ】 お肌悩みとスキンケアアドバイス			10	【授業テーマ】 お肌悩み「ニキビ」とスキンケアカウンセリング				
	【到達目標】 乾燥・ニキビ・くすみ・シミ・たるみのお肌メカニズムを復習し、スキンケアカウンセリングに結び付けることができる。				【到達目標】 ニキビでお悩みのお客様への確なスキンケアカウンセリング～タッチアップ～商品選択～ビューティープラン作成～ホームケアアドバイス～サンプリング～お見送りまでを行うことが出来る				
3	【授業テーマ】 お肌悩みとスキンケアアドバイス			11	【授業テーマ】 お肌悩み「シミ」とスキンケアカウンセリング				
	【到達目標】 乾燥・ニキビ・くすみ・シミ・たるみのお肌メカニズムを復習し、スキンケアカウンセリングに結び付けることができる。				【到達目標】 シミでお悩みのお客様への確なスキンケアカウンセリング～タッチアップ～商品選択～ビューティープラン作成～ホームケアアドバイス～サンプリング～お見送りまでを行うことが出来る				
4	【授業テーマ】 お肌悩みとスキンケアアドバイス			12	【授業テーマ】 お肌悩み「くすみ」とスキンケアカウンセリング				
	【到達目標】 乾燥・ニキビ・くすみ・シミ・たるみのお肌メカニズムを復習し、スキンケアカウンセリングに結び付けることができる。				【到達目標】 くすみでお悩みのお客様への確なスキンケアカウンセリング～タッチアップ～商品選択～ビューティープラン作成～ホームケアアドバイス～サンプリング～お見送りまでを行うことが出来る				
5	【授業テーマ】 ベーシックケアアドバイス			13	【授業テーマ】 お肌悩み「たるみ」とスキンケアカウンセリング				
	【到達目標】 各お肌悩みに対してベーシックケアアドバイスが行える。ヒアリング～タッチアップ～ビューティープラン作成～ホームケアアドバイスまでの流れを習得する。				【到達目標】 たるみでお悩みのお客様への確なスキンケアカウンセリング～タッチアップ～商品選択～ビューティープラン作成～ホームケアアドバイス～サンプリング～お見送りまでを行うことが出来る				
6	【授業テーマ】 ベーシックケアアドバイス			14	【授業テーマ】 あらゆる年代、お肌悩みのお客様にも対応できるスキンケアカウンセリング				
	【到達目標】 各お肌悩みに対してベーシックケアアドバイスが行える。ヒアリング～タッチアップ～ビューティープラン作成～ホームケアアドバイスまでの流れを習得する。				【到達目標】 (定期試験準備)あらゆる年代、お肌悩みのお客様にも対応できるスキンケアカウンセリング力を身に付ける。説得力のあるカウンセリング、タッチアップ、商品選択、ホームケアアドバイスが行える				
7	【授業テーマ】 スペシャルケアアドバイス			15	【定期試験内容】 スキンケアカウンセリング				
	【到達目標】 各お肌悩みに対してスペシャルケアアドバイスが行える。ヒアリング～タッチアップ～ビューティープラン作成～ホームケアアドバイスまでの流れを習得する。				【評価項目とフィードバック】 スキンケアカウンセリング				
8	【授業テーマ】 スペシャルケアアドバイス			【成績評価の方法と基準】					
	【到達目標】 各お肌悩みに対してスペシャルケアアドバイスが行える。ヒアリング～タッチアップ～ビューティープラン作成～ホームケアアドバイスまでの流れを習得する。			●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。					
【履修に当たっての心構え・留意点】									
忘れ物・授業への積極的参加									

講義シラバス										
科目名	トータルセールス	必修 選択の別	必修	開講 区分	3S(前期)	授業 形態	講義	総時間数	24 時間	
学科	トータルビューティ科			コース	メイクコース	学年	2年生			
講師名	高木 佳子	講師プロフィール	大手化粧品メーカーに22年間在籍し、美容マネージャーなどを歴任。接遇・社員教育などで寄与。その間に化粧検定1級を取得。その後、北海道の化粧品メーカー役員として、商品企画制度や社員育成研修制度などを確立し、アメリカにてハリウッドエアーの資格を取得。マナーOJTインストラクターや化粧品検定コスメコンシェルジュを取得後、現在は心とお肌の健康をテーマにサロンを自営すると共に、企業研修や高校での模擬面接などを担当。							
【授業を通じての到達目標】										
実務的にBAとして必要な数字の計算やお会計に関わる業務、店頭で必要な業務を理解し、即現場に立てる力を身につける										
【学習内容】										
現場で必要とされる、商品販売する上での売上管理、割引計算や店頭での必要業務を学ぶ										
【使用教科書・教材・参考図書】										
筆記用具 電卓					百貨店・ドラッグストア・化粧品店他の店頭づくりや動きに日常から興味を持って観察する					
回	授業計画			回	授業計画					
1	【授業テーマ】 4/15 ～オリエンテーション～ この授業の目的と到達目標の確認			9	【授業テーマ】 6/24 売上と商品管理。月から年間での予算、前年、実績などの 店頭運営に関わることを理解する					
	【到達目標】 シラバスを理解する。この授業の心構え・準備をしっかり整える 店頭で必要な業務と接客に必要なCS5原則を理解する				【到達目標】 小テスト： 5 店頭運営、商品管理、予算管理について学ぶ 計画性、目標意識、責任感などを身につける 計算ワーク					
2	【授業テーマ】 4/22 個人情報管理、コンプライアンス、店頭管理 店頭業務における、さまざまな業務を学ぶ			10	【授業テーマ】 7/1 お会計に関わる業務を理解する ①					
	【到達目標】 小テスト： 3 顧客満足につなげるための、店頭における管理業務について理解する				【到達目標】 小テスト： 2 クレジットカードの仕組み・注意事項 契約が成立するタイミング					
3	【授業テーマ】 5/6 お客様作りの流れを理解する。カルテの中身、役割、活用方法、記入の仕方 カルテ内容の確認項目(使用品目、前回接客の内容、お悩み)			11	【授業テーマ】 7/15 お会計に関わる業務を理解する ②					
	【到達目標】 小テスト： 2 カルテを活用して、お客様とのコミュニケーション力と お客様に合わせたアドバイス力を身につける カルテコメントの作成				【到達目標】 小テスト： 5 お金の受け渡し方ワーク ロールプレイング(現金・クレジット他)の流れ					
4	【授業テーマ】 5/13 お客様の再来店の大切さと方法を理解する 購入後のお礼・フォローDMの書き方			12	【授業テーマ】 8/19 定期試験：50点					
	【到達目標】 小テスト： 2 お客様の再来店のためのフォロー方法 お客様とのコミュニケーション力を身につける DMの作成				【評価項目とフィードバック】 トータルセールス授業のまとめ 知識をペーパーテストで確認					
5	【授業テーマ】 5/20 お客様の再来店の大切さと方法を理解する 購入後のお礼・電話応対(受け方・掛け方)			13						
	【到達目標】 小テスト： 3 お客様の再来店のためのフォロー方法 お客様とのコミュニケーション力を身につける ロールプレイング									
6	【授業テーマ】 5/27 POPの役割を理解する			14						
	【到達目標】 小テスト： 2 日常さりげなく目にしてしているPOPの役割をリサーチし、 グループワークを交えながらPOPの役割を考え、まとめる									
7	【授業テーマ】 6/10 商品ご紹介のためのPOPの作成			15						
	【到達目標】 小テスト： 2 POPの役割を考えて、より見やすいPOPの作成を行う									
8	【授業テーマ】 6/17 筆記：プリント問題で確認			【成績評価の方法と基準】 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。						
	【到達目標】 小テスト：15点 現場を想定したカルテの役割と活用 店頭業務に関わる実績管理の確認									
【履修に当たっての心構え・留意点】										
授業出席・遅刻の厳重管理と指導/忘れ物、授業態度の指導										

講義シラバス									
科目名	フェイシャルケア	必修 選択の別	必修	開講 区分	3S(前期)	授業 形態	演習	総時間数	90 時間
学科	トータルビューティ科			コース	メイクコース	学年	2年生		
講師名	大槻 亜由美	講師プロフィール	国産化粧品メーカー退職後、専門学校講師として主にスキンケアの授業を担当。ビューティーカウンセラーとして現在も店頭活動を行っている。						
【授業を通じての到達目標】									
プロのBAに必要なフェイシャルケア技術の習得。笑顔・言葉遣い・立ち振る舞い・時間管理などプロのBAに必要なホスピタリティーマインドの更なる向上も目指す									
【学習内容】									
①店頭活動を想定してのフェイシャルケア法を習得する。②お手入れ会を想定してのフェイシャルケア法とカウンセリング法を習得する。 ③BAに必要なホスピタリティーマインドのレベルアップ									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習】				
ティッシュ・コットン・エプロン・エタノール・水差し・タオル・スキンケア一式・筆記用具・ノート・スポンジ・パフ・ミラー・スパチュラ									
回	授業計画			回	授業計画				
1	【授業テーマ】 フェイシャルケアオリエンテーション			9	【授業テーマ】 BAの現場における「お手入れ会」とカウンセリング				
	【到達目標】 1年次のベルコンジュニアカップやスキンケア授業の振り返りを行い2年時の自身の目標設定を行う。				【到達目標】 BAの現場における「お手入れ会」の役割と一連の流れを理解し現場をイメージする。お手入れ会時でのカウンセリング法を理解する				
2	【授業テーマ】 ハンドマッサージ			10	【授業テーマ】 お手入れ会でのカウンセリング				
	【到達目標】 店頭活動、お手入れ会を想定しハンドマッサージを行うことができる。ポディーケア市場を理解する				【到達目標】 お手入れ会を想定してのスキンケアカウンセリングを行うことができる。顧客満足を意識してお出迎え～カウンセリング～アイテム選択～ホームケアアドバイス～販売～お見送りまでを行える				
3	【授業テーマ】 マスク実習			11	【授業テーマ】 お手入れ会でのカウンセリング				
	【到達目標】 店頭活動を想定し、スキンケアのご紹介、ハンドマッサージ、シートマスク実習をスムーズに行うことができる				【到達目標】 お手入れ会を想定してのスキンケアカウンセリングを行うことができる。顧客満足を意識してお出迎え～カウンセリング～アイテム選択～ホームケアアドバイス～販売～お見送りまでを行える				
4	【授業テーマ】 マスク実習			12	【授業テーマ】 お手入れ会でのスキンケア実習				
	【到達目標】 店頭活動を想定し、スキンケアのご紹介、ハンドマッサージ、ジェルマスク実習をスムーズに行うことができる				【到達目標】 お手入れ会を想定して、ベッドでのお手入れの一連の流れ、手順を習得する(スキンケア～基本のマッサージ)				
5	【授業テーマ】 フェイシャルマッサージ			13	【授業テーマ】 お手入れ会でのスキンケア実習				
	【到達目標】 マッサージの効果と収れん化粧水の効果を理解する。セルフフェイシャルマッサージ法を習得する。				【到達目標】 お手入れ会を想定して、ベッドでのお手入れの一連の流れ、手順を習得する(スキンケア～基本のマッサージ～ジェルマスク～ハンドマッサージ)				
6	【授業テーマ】 フェイシャルマッサージ			14	【授業テーマ】 お手入れ会でのスキンケア実習				
	【到達目標】 店頭活動を想定し座っているお客様へのマッサージを行えるようになる。				【到達目標】 お手入れ会を想定して、ベッドでのお手入れの一連の流れ、手順を習得する(スキンケア～基本のマッサージ～ジェルマスク～ハンドマッサージ)				
7	【授業テーマ】 フェイシャルマッサージ			15	【定期試験内容】 お手入れ会を想定してベッドでのスキンケア実習。スキンケア塗布～基本のマッサージ～ジェルマスク～ハンドマッサージ				
	【到達目標】 店頭活動を想定し、スキンケアご紹介～マッサージを行えるようになる				【評価項目とフィードバック】 お手入れ手順、お声がけ、BAらしい立ち振る舞い、時間管理を評価ポイントとし定期試験を行う				
8	【授業テーマ】 フェイシャルマッサージ			【成績評価の方法と基準】					
	【到達目標】 店頭活動を想定し、スムーズなスキンケアのご紹介、美しい姿勢でのマッサージ、BAらしい立ち振る舞いで実習が行える			●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。					
【履修に当たっての心構え・留意点】									
忘れ物・遅刻をしない。手順をしっかりと覚え授業に参加する。									

講義シラバス

科目名	ブランドリサーチ	必修 選択の別	必修	開講 区分	3S(前期)	授業 形態	講義	総時間数	15 時間
学科	トータルビューティ科			コース	メイクコース	学年	2年生		
講師名	新井 梨沙	講師プロフィール	Esther nail+エステルネイルプラス代表自身のトータルビューティーサロン&スクールを 経営しながらコスメ・メイク・ネイルの専門家として美容専門学校・セミナー・企業・職業訓 練講師として幅広く美容教育に携わる。札幌ベルエッポックでは自身の資格と経験を生か し、技術・接客・ライフワークに至るまで全てに特化した授業を担当している。						
【授業を通じての到達目標】									
化粧品の特徴と使い方を理解し、化粧品の選び使えるようになる。またコスメ・美容記事を書けるようになる。									
【学習内容】									
化粧品の知識を深め正しく理解し、化粧品の選び方、ブランド特徴、メイクテクニックを身につけファッションと関連した美容関連記事作成ができるようになる。									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習】				
メイク道具、鏡、いつも使っている基礎化粧品、筆記用具、雑誌、はさみ、のり					指定された項目のコスメリサーチ				
回	授業計画			回	授業計画				
1	【授業テーマ】 基礎化粧品の正しい使い方、知識を身につける			9					
	【到達目標】 基礎化粧品についての知識を深め大切さを知る。普段のスキンケアの見直し								
2	【授業テーマ】 下地、ファンデーションの種類を知り使えるようになる。			10					
	【到達目標】 沢山の種類の下地やファンデーションの効果や使い方について比較研究する								
3	【授業テーマ】 アイシャドウ、アイライナーの種類を知り使えるようになる。			11					
	【到達目標】 色々なブランドの発色の仕方や質感、入れ方使い方を学び比較研究する。								
4	【授業テーマ】 ビューラー、マスカラ、つけまつげの種類を知り使えるようになる。			12					
	【到達目標】 まつげの理想や色々な作り方、まつげの化粧品を知り使えるようになる。								
5	【授業テーマ】 アイブロウ商品について知り使えるようになる。			13					
	【到達目標】 メイクのイメージやその方にあった眉の色や形を研究しながら商品を試し比較研究する								
6	【授業テーマ】 チークの種類を知り使えるようになる。			14					
	【到達目標】 チークの入れる位置を意識しながらメイクのイメージに合わせたチークを選び研究する。								
7	【定期試験内容】 プレゼンテーション			15					
	【評価項目とフィードバック】 今までの学んできたこと作品を発表し、コスメを適切に伝えることができるようになる。								
8				【成績評価の方法と基準】					
				●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。					
【履修に当たっての心構え・留意点】									
授業出席・遅刻の厳重管理と指導/忘れ物、授業態度の指導 作品の完成度									

講義シラバス									
科目名	ヘルスビューティー	必修 選択の別	必修	開講 区分	3S(前期)	授業 形態	演習	総時間数	45 時間
学科	トータルビューティ科			コース	メイクコース	学年	2年生		
講師名	棚村弘恵	講師プロフィール	エステティックの実務を10年、講師歴17年携わってきました。サロンではフェイシャルトリートメント/ボディトリートメントを含めアロマセラピー・バリニーズマッサージ・タラソセラピーなどニーズにお応えしたトリートメントを行ってまいりました。みなさんに解かりやすく・今まで以上に美容を好きになり素敵になってもらえるように努めていきたいと思ひます。						
【授業を通じての到達目標】									
アンチエイジング(美肌・スタイル改善・維持)の新常識の理論やトリートメントを探り美活動を行う。話術(プレゼンテーション力)を身に付ける。									
【学習内容】									
老けない美女を目指して毎日のライフスタイルに気を配り、内面的・外面的に美人になるように研究して実行していく。(座学/実習)									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習】				
筆記用具/シラバス/参考資料配布									
回	授業計画			回	授業計画				
1	【授業テーマ】 ☆ビューティーワード(血流量)/エイジングについて知識を高める/美活動とは何かを考える/ 血流量upトリートメント			9	【授業テーマ】 ☆ビューティーワード(①サポート・ビューティアイテム)/高めること意識することの恩恵/使用化粧品効果効能(小テスト5点)				
	【到達目標】 シラバス参照し今後の取り組みや内容を把握する				【到達目標】 理論/実技を学習して美活動につなげる/アイテムを知る/変化に気づく/グループワーク				
2	【授業テーマ】 ☆ビューティーワード(①毛細血管の現状)/高めることよっての美活動の恩恵/使用化粧品効果効能(小テスト5点)			10	【授業テーマ】 ☆ビューティーワード(②サポート・ビューティアイテム)/高めること意識することの恩恵/プレゼンテーション(小テスト5点)				
	【到達目標】 理論/実技を学習して美活動につなげる/血流量upトリートメント/変化に気づく				【到達目標】 理論/実技を学習して美活動につなげる/アイテムを知る/変化に気づく/グループワーク				
3	【授業テーマ】 ☆ビューティーワード(②毛細血管の現状)/高めることよっての美活動の恩恵 プレゼンテーション			11	【授業テーマ】 ☆ビューティーワード①(腸活)/高めることゝの恩恵 ウェストライン/使用化粧品効果効能(小テスト5点)				
	【到達目標】 理論/実技を学習して美活動につなげる/血流量upトリートメント/変化に気づく				【到達目標】 理論/実技を学習して美活動につなげる/リラクセーション/変化に気づく/グループワーク				
4	【授業テーマ】 ☆ビューティーワード(①自律神経)/高めることよっての美活動の恩恵 リラクセーション/使用化粧品効果効能(小テスト5点)			12	【授業テーマ】 ☆ビューティーワード②(腸活)/高めることゝの恩恵 ウェストライン/プレゼンテーション				
	【到達目標】 理論/実技を学習して美活動につなげる/リラクセーション/変化に気づく/グループワーク				【到達目標】 理論/実技を学習して美活動につなげる/変化に気づく/グループワーク				
5	【授業テーマ】 ☆ビューティーワード(①自律神経)/高めることよっての美活動の恩恵 リラクセーション/使用化粧品効果効能(小テスト5点)			13	【授業テーマ】 1週～12週のまとめを踏まえトリートメントを総合的の行う/プレゼンテーション(小テスト5点)				
	【到達目標】 理論/実技を学習して美活動につなげる/リラクセーション/変化に気づく/グループワーク				【到達目標】 理論/実技を学習して美活動につなげる/変化に気づく/グループワーク				
6	【授業テーマ】 ☆ビューティーワード(②自律神経)/高めることよっての美活動の恩恵 リラクセーション/プレゼンテーション(小テスト5点)			14	【授業テーマ】 1週～13週のまとめを踏まえトリートメントを総合的の行う/プレゼンテーション(小テスト5点)				
	【到達目標】 理論/実技を学習して美活動につなげる/リラクセーション/変化に気づく/グループワーク				【到達目標】 理論/実技を学習して美活動につなげる/血流量up/アイテム/リラクセーション/変化に気づく				
7	【授業テーマ】 ☆ビューティーワード(①入浴法/フード/エクササイズ/トリートメントプラン)レクチャー(小テスト5点)			15	【定期試験内容】 トリートメント内容/使用化粧品効果効能を説明				
	【到達目標】 理論/実技を学習して美活動につなげる/変化に気づく/グループワーク				【評価項目とフィードバック】 1週～14週のまとめを踏まえトリートメントを総合的の行う/プレゼンテーション				
8	【授業テーマ】 ☆ビューティーワード(①サポート・ビューティアイテム)/高めること意識することゝの恩恵/使用化粧品効果効能(小テスト5点)			【成績評価の方法と基準】 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。					
	【到達目標】 理論/実技を学習して美活動につなげる/アイテムを知る/変化に気づく/グループワーク								
【履修に当たっての心構え・留意点】									
授業出席・遅刻の厳重と指導/忘れ物・授業態度の指導/授業内容の把握確認									

- 評価
A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点)
E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)
- 評価方法
評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。

講義シラバス											
科目名	コスメトロジー		必修 選択の別	必修	開講 区分	通年	授業 形態	講義	総時間数	30 時間	
学科	トータルビューティ科				コース	メイクコース	学年	2年生			
講師名	畠木 佳子口		講師プロフィール	大手化粧品メーカーに22年間在籍し、美容マネージャーなどを歴任。接遇・社員教育などで寄与。その間に化粧品検定1級を取得。その後、北海道の化粧品メーカー役員として、商品企画制度や社員育成研修制度などを確立し、アメリカにてハリウッドエアーの資格を取得。マナーOJTインストラクターや化粧品検定コスメコンシェルジュを取得後、現在は心とお肌の健康をテーマにサロンを自営すると共に、企業研修や高校での模擬面接などを担当。							
【授業を通じての到達目標】 化粧品検定2級合格を目指す 皮膚の構造や肌悩みに対する化粧品の選び方やメイク方法、美肌に導く美容知識を習得する											
【学習内容】 化粧品検定3級(自分の知識を正す)・2級範囲(自分はキレイになる)の知識を習得											
【使用教科書・教材・参考図書】											
化粧品検定2級・3級対策テキスト(コスメの教科書)					筆記用具	ノート	検定合格を目指し、自身で覚える為の工夫をする				
回	授業計画				回	授業計画					
1	【授業テーマ】 4/15 ～オリエンテーション～この授業の目的と到達目標の確認 基本的な美容知識の確認				9	【授業テーマ】 6/24 悩み別の原因とお手入れ方法を知ろう ニキビ／毛穴の種類を知る					
	【到達目標】 授業内容の理解し、自分自身に目標の確認。 間違えがちな美容知識を学ぶ クレンジング・洗顔の基本を理解する					【到達目標】 小テスト： 3 肌の基本知識を知ること、より効果のあるお手入れ方法を学ぶ タイプ別・お手入れ方法を理解する					
2	【授業テーマ】 4/22 基本的な美容知識を身につける				10	【授業テーマ】 7/1 悩み別の原因とお手入れ方法を知ろう シミ／くすみの種類を知る					
	【到達目標】 小テスト： 2 化粧水・乳液／クリーム・美容液の基礎知識 勘違いがちな肌悩みの対処法／スペシャルケアに関する疑問を理解する					【到達目標】 小テスト： 3 肌の基本知識を知ること、より効果のあるお手入れ方法を学ぶ タイプ別・お手入れ方法を理解する					
3	【授業テーマ】 5/6 肌悩みの対処法について知る				11	【授業テーマ】 7/15 悩み別の原因とお手入れ方法を知ろう くま／しわ・たるみの種類を知る					
	【到達目標】 小テスト： 2 お手入れの基本手順／スキンケアに関する疑問 日焼け止めの基本／メイクアップの基本の理解をする					【到達目標】 小テスト： 3 肌の基本知識を知ること、より効果のあるお手入れ方法を学ぶ タイプ別・お手入れ方法を理解する					
4	【授業テーマ】 5/13 自分に似合う色／肌悩みの対処法 ボディケア・ヘアケアの基本				12	【授業テーマ】 8/19 メイクアップの基本テクニックを知る					
	【到達目標】 小テスト： 2 自分に似合う色の見つけ方／唇の皮むけの対応法／まつ毛ケアのための基本知識を理解する ボディケアの基本。ボディケアに関する素朴な疑問 ヘアケアの基本					【到達目標】 小テスト： 3 検定における手順と肌悩みに応じた化粧品の使い方を理解する					
5	【授業テーマ】 5/20 間違えがちな美容知識の確認				13	【授業テーマ】 9/2 美肌・美ボディになるための基本的な生活習慣を知る					
	【到達目標】 小テスト： 5 手や爪の特徴／日本・海外の化粧品の違いについて理解する 3級検定資格試験の合格を目指す					【到達目標】 小テスト： 3 肌を劣化させる様々な要因(外敵要因・内的要因) 紫外線が肌に与える影響を理解する					
6	【授業テーマ】 5/27 皮膚・肌について知る				14	【授業テーマ】 9/9 筋肉と骨格とリンパの基礎知識を知る 美しい肌を作る生活習慣を知る					
	【到達目標】 小テスト： 3 皮膚の構造：断面図で皮膚の成り立ち／皮膚のしくみと働きを理解する 細かい部位について学ぶ					【到達目標】 小テスト： 3 効果的なマッサージの必要性和方法 身体の生理作用と美肌作りのための生活習慣がもたらす効果の理解をする (睡眠／ 食事・飲み物／運動／入浴)					
7	【授業テーマ】 6/10 皮膚・肌について知る				15	【定期試験内容】 9/16 定期試験：50点					
	【到達目標】 小テスト： 3 真皮のしくみ／皮膚の機能 季節と肌乾燥の原因とお手入れを理解する					【評価項目とフィードバック】 化粧品検定2級範囲をペーパーテストで確認					
8	【授業テーマ】 6/17 基本的な美容知識の理解を確認				【成績評価の方法と基準】 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。						
	【到達目標】 小テスト：15点 間違えがちな化粧品や美容に関する知識と皮膚構造についてをペーパーテストで確認										
【履修に当たっての心構え・留意点】											
授業出席・遅刻の厳重管理と指導/忘れ物、授業態度の指導											

講義シラバス									
科目名	コンテスト対策	必修 選択の別	必修	開講 区分	通年	授業 形態	演習	総時間数	180 時間
学科	トータルビューティ科			コース	ネイルコース	学年	2年生		
講師名	森 結花	講師プロフィール	数店舗のネイルサロンでネイリスト、店長として経験を積み、2008年nailsalon“LierreNail”をオープン。イベントでのネイルブース出店や、プロ向けのトレンドアートセミナー、スクールや専門学校での講師活動をし、						
【授業を通じての到達目標】									
ジェルアート、イクステンション、最新トレンドアートなどの技術を総合的に学び、ペルコンやその他コンテストでの入賞を目指す									
【学習内容】									
様々な技法のジェルアートを学び、トレンドを取り入れたコンテストデザインを作成									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習】				
ネイルアート教材一式・チップスタンド・ハンド・ノート・筆記用具・色鉛筆					コンテスト前のアート練習				
回	授業計画			回	授業計画				
1	【授業テーマ】 ・オリエンテーション～コンテストの内容と目的を理解し目標を立てる ・基本的なベースアートとコンテストでよく使うフラワーアートとブラシワークをマスターする			9	【授業テーマ】 コンテストデザインを作成				
	【到達目標】 ・コンテストの趣旨説明をし、どのような作品が入賞しやすいか理解する ①ダブルカラーのグラデーションや縦グラデーション、ドロップベースなどの各種ベースアートを覚える ②マーガレットやひまわり、早描き出来るようなフラワーアートの筆使いを覚える 小テスト5点				【到達目標】 ①両手分のコンテストデザインをモデルサイズで修正し完成させる ②完成したデザイン画を元にアートチップを作成 小テスト5点				
2	【授業テーマ】 コンテストで使用頻度の高いトールペイントアートをマスターする			10	【授業テーマ】 ジェルスカルプチュアをマスターする				
	【到達目標】 ①トールペイントでローズを描く ②シャボン玉や雲、レースなど透け感のあるアイテムを描く 小テスト5点				【到達目標】 ①ハンドを使用しジェルチップオーバーレイを作成 ②相モデルで施術 小テスト5点				
3	【授業テーマ】 コンテストでメインアートを引き立たせる背景アートをマスターする			11	【授業テーマ】 作品の仕上がりイメージを想像し見本チップを作成				
	【到達目標】 ①ビルなど人工的な建物を組み合わせ、奥行きのあるアートを描く ②海や森、花畑や草原など自然の中の風景アートを描く 小テスト5点				【到達目標】 夏休み中練習できるように見本チップを完成させる 小テスト5点				
4	【授業テーマ】 コンテストでメインアートを引き立たせるサイドアートをマスターする			12	【授業テーマ】 コンテスト当日のイメージを掴む				
	【到達目標】 ①フルーツなどのカラフルで明るい印象のアイテムを描く ②動物を毛並みの質感を出しながらバランスよく描く 小テスト5点				【到達目標】 ①コンテスト当日のタイムスケジュールでチップ作成をする ②ハンドor相モデルで時間を計り確認 8/24・25JOINT				
5	【授業テーマ】 ・コンテストで目を引く独創的で繊細なメインアートをマスターする ・今まで習った技法をもとにコンテスト用のデザインを考える			13	【授業テーマ】 ペルコン本選デザインを決定				
	【到達目標】 ①人物の顔をバランスよくリアルに描く ②テーマを元にデザイン画を作成 小テスト5点(アートのコンセプトやサブテーマを決め過去のデザインを参考にしデザインを考える)				【到達目標】 ペルコン本選、フォトコンのデザイン画を作成				
6	【授業テーマ】 アートチップを作成			14	【授業テーマ】 アートチップを作成				
	【到達目標】 前回作成したデザイン画を元にアートチップを作成していく				【到達目標】 コンテストで入賞できるように意識したデザインでチップを作成				
7	【授業テーマ】 アートのクオリティを上げチップを作成			15	【定期試験内容】 コンテストデザインのアートチップを作成				
	【到達目標】 アートチップを作成し予選の準備を行う 6/9予選				【評価項目とフィードバック】 ・セッティング、身だしなみ ・デザイン性 ・カラーバランス ・アートバランス ・ペイントアートの繊細さ ・メインアートのクオリティ ・仕上りの美しさ ・完成度 ※最後に自分の作品のプレゼンテーションをし、作った作品のフィードバックを行う				
8	【授業テーマ】 アートチップを作成			【成績評価の方法と基準】 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。					
	【到達目標】 作成したアートチップの修正点を手直しし、完成させる 小テスト10点(アートチップを完成させる)								
【履修に当たっての心構え・留意点】									
・忘れ物、遅刻、欠席をしない ・授業前までに道具のセッティングを済ませておく									

講義シラバス									
科目名	ジェルネイル検定対策	必修 選択の別	必修	開講 区分	通年	授業 形態	演習	総時間数	75 時間
学科	トータルビューティ科			コース	ネイルコース	学年	2年生		
講師名	山本 麻美	講師プロフィール	・日本ネイリスト協会常任本部認定講師 ・ネイルサロンPRISM代表 ・10年以上ネイリストの育成と教育に携わる。ネイリスト歴20年 ・福祉ネイリスト資格を取得し、福祉分野にも携わる						
【授業を通じての到達目標】									
ジェルネイル検定中級合格レベルになる 上級内容について理解する									
【学習内容】									
ジェルネイル中級、ジェルオフ、グラデーション、フレンチ、ジェルスカルブの技法を身につける 上級内容も練習									
使用教材				【授業時間外における学習】					
ジェルネイル教材一式、ビニール袋、キッチンペーパー、アルミホイル、コットン									
回	授業計画			回	授業計画				
1	【授業テーマ】 相モデル 中級内容の説明、グラデーション、フレンチ、ジェルオフの説明と練習			9	【授業テーマ】 ハンド ジェルスカルブ、オーバーレイの練習 フォームの角度、チップの装着、ブラシワーク、ピンチのタイミング、同時にファイルでそろえる練習				
	【到達目標】 中級内容を把握し、ジェルネイルを安全に正しくオフすることができるようになる				【到達目標】 スカルブとオーバーレイを同じ仕上がりになるように意識し、アプリケーション～ファイルを理想の形にできるようになる				
2	【授業テーマ】 ハンド プレパレーション、ジェルスカルブの説明と練習			10	【授業テーマ】 相モデル オーバーレイ、フレンチルックの練習と説明				
	【到達目標】 ジェルスカルブ フォームの装着～アプリケーション、ファイルを習得する 理想の形を意識しながらアプリケーションができるようになる				【到達目標】 オーバーレイ(ナチュラル)とフレンチルックの仕上がりをそろえ、苦手を克服する				
3	【授業テーマ】 ハンド 苦手部分を重点にアプリケーションの反復練習 フォームの角度、ブラシワーク、ピンチのタイミングなど			11	【授業テーマ】 相モデル ジェルスカルブ、オーバーレイ(ナチュラル、フレンチ)の練習				
	【到達目標】 苦手部分を把握し、ジェルスカルブを理想の形に仕上げ、苦手部分を克服する				【到達目標】 時間を意識し、形をそろえられるようになる				
4	【授業テーマ】 相モデル ジェルスカルブの練習			12	【授業テーマ】 ハンド オーバーレイ(デザイン)の練習と説明				
	【到達目標】 相モデルでもキレイにアプリケーションができるようになる 仕上がりのフォルムを意識する				【到達目標】 上級合格レベルのアートが描けるようになる				
5	【授業テーマ】 相モデル 中級タイムトライアル(オフ～)			13	【授業テーマ】 相モデル オーバーレイ(ナチュラル、デザイン)の練習				
	【到達目標】 時間を意識して、仕上げる事ができるようになる				【到達目標】 仕上がりをそろえる事ができるようになる				
6	【授業テーマ】 相モデル タイムトライアル			14	【授業テーマ】 ハンド 上級内容、ジェルスカルブ、オーバーレイ(ナチュラル、フレンチ、デザイン)の練習85分				
	【到達目標】 合格レベルを意識する フレンチの均等、スマイルライン、グラデーションの幅をそろえられる				【到達目標】 時間を意識し、仕上がりをそろえる事ができるようになる				
7	【授業テーマ】 相モデル タイムトライアル			15	【定期試験内容】 ハンド ジェルスカルブ、オーバーレイ(ナチュラル、フレンチ、デザイン)				
	【到達目標】 モチベーションのコントロールをトレーニング 合格レベルに達する				【評価項目とフィードバック】 時間内に仕上げ、仕上がりの形をそろえる事ができるようになる				
8	【授業テーマ】 ジェルネイル検定十級内容の説明 ハンドでチップオーバーレイの説明と練習			【成績評価の方法と基準】 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。					
	【到達目標】 上級内容の把握 チップオーバーレイの技術を習得する								
【履修に当たっての心構え・留意点】									

講義シラバス									
科目名	ネイルマシーン	必修 選択の別	必修	開講 区分	3S(前期)	授業 形態	演習	総時間数	45 時間
学科	トータルビューティ科			コース	ネイルコース	学年	2年生		
講師名	山本 麻美	講師プロフィール	・日本ネイリスト協会常任本部認定講師 ・ネイルサロンPRISM代表 ・10年以上ネイリストの育成と教育に携わる。ネイリスト歴20年 ・福祉ネイリスト資格を取得し、福祉分野にも携わる						
【授業を通じての到達目標】									
サロンワークで使われるマシーンについて理解し、必要なテクニックを身に付け、効率的な時間短縮が出来るようになる エアブラシの扱い方、知識やアートテクニックを理解できるようになる。									
【学習内容】									
ネイルマシンの扱い方を正しく理解し、スムーズに安全に扱えるようになる エアブラシノ基礎知識を身に付け正しく扱うことができる。美しいグラデーション、マスキングシートのカート、ネガ、ポジアートの練習									
使用教材					【授業時間外における学習】				
・ネイルマシーン<ジェルネイル教材、ネイル道具一式、マシンの準備、ビニール袋、アルミホイル> ・エアブラシ<筆記用具、ノート、洗浄道具、ゴミ袋、キッチンペーパー、(ゴム手袋)>									
回	授業計画			回	授業計画				
1	【授業テーマ】 マシーン マシンの構造と各アタッチメントの種類、使い方の説明 ハンドでジェルリムーブの練習をしながら、回転スピードの確認			9	【授業テーマ】 マシーン 相モデル ジェルリムーブ(ストーン含む)～ケアの練習 片手にジェルを塗り、マシーンで削り、アセトンオフ中に片手ケアをする				
	【到達目標】 マシンの構造と各アタッチメントの種類、使い方を理解する オフの手順を把握する				【到達目標】 時間管理を考え、安全にマシンを扱うことができるようになる				
2	【授業テーマ】 マシーン 自爪を使ってジェルリムーブの練習とケアの練習 リムーブ～ケアの流れを把握する			10	【授業テーマ】 マシーン 相モデルでジェルリムーブ(ストーン)～ケアの練習				
	【到達目標】 マシンを安全に扱い、リムーブができるようになる マシーンでのケアで時間短縮方法を学ぶ				【到達目標】 ジェルリムーブ、ケアが完璧にできるようになる				
3	【授業テーマ】 マシーン 相モデル マシーンによるジェルリムーブ～ケアの練習 片手にジェルを塗り、マシーンで削りアセトンオフケア			11	【授業テーマ】エアブラシ 相モデルでエアブラシでのアートの練習、ボディペイントの練習				
	【到達目標】 お客様の事を第一に考え、安全にマシンを扱うことができる				【到達目標】 注文通りのアートができるようになる				
4	【授業テーマ】 エアブラシ エアブラシの基礎を覚える グラデーション、ドット、ラインの練習			12	【授業テーマ】 エアブラシ チップにアートの練習				
	【到達目標】 エアブラシの道具、教材、ハンドピースの種類、正しい使い方、教材の接続、洗浄を理解し覚える キレイなグラデーションが噴けるようになる トランス、オペイクを理解し、セカンドカラーも出せるようになる				【到達目標】 アートチップ5本SETで作れるようになる				
5	【授業テーマ】 エアブラシ マスキングシートをハート、5枚花(1枚ずつ)、5枚花のトングラデーションの練習			13	【授業テーマ】 マシーン 相モデルでジェルオフ(ストーン)～ケアの練習				
	【到達目標】 マスキングシートをカットし、ネガ、ポジアートができるようになる				【到達目標】 時間短縮し、キレイに安全に扱うことができるようになる				
6	【授業テーマ】 エアブラシ 遠近感のある空と、立体感のある風船アート、バラの練習			14	【授業テーマ】 エアブラシ アートチップ5本SET(セカンドカラーをキレイに出し、バラを入れたアートデザイン)作成				
	【到達目標】 遠近感、立体感を出すアートができるようになる 光の入れ方、トップコート後の色の沈みを理解する バラのアートができるようになる				【到達目標】 台紙を使用し、オリジナルアートチップの作成ができるようになる				
7	【授業テーマ】 エアブラシ 質感を出す練習 紙にもキレイに噴く練習			15	【定期試験内容】 マシーン 相モデル ジェルオフ(ストーン)～ケア				
	【到達目標】 本物のレースなどを使い、質感を出しながらアートができるようになる チップのアートが映えるような背景を噴けるようになる				【評価項目とフィードバック】 マシンを安全に扱うことができるか 時間短縮が完璧になっているか				
8	【授業テーマ】 エアブラシ 相モデル(お客様)にエアブラシを使用する時の注意点、扱い方の練習			【成績評価の方法と基準】					
	【到達目標】 サロンでも活用できるようなエアブラシの施術ができるようになる			●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。					
【履修に当たっての心構え・留意点】									

講義シラバス									
科目名	PC	必修 選択の別	必修	開講 区分	3S(前期)	授業 形態	演習	総時間数	24 時間
学科	トータルビューティ科			コース	ネイルコース	学年	2年生		
講師名	玉村 彩加枝	講師プロフィール	短大を卒業後、某メーカーにパソコン・ワープロのインストラクターとして就職。現在は主にWord、Excel、PowerPointの講師をしています。札幌ベルエポック美容専門学校には2014年より授業を担当しています。						
【授業を通じての到達目標】									
社会人として必要なパソコンの基礎知識および実務で役に立つ知識や機能を習得する。 卒業制作において説得力のあるプレゼンテーションができるようになる。									
【学習内容】									
ビジネスメールのマナーやルールを学び、シーンによって使い分ける。 ビジネス文書作成(Word) 請求書、見積書・データベース(Excel) プレゼン資料作成(PowerPoint) 及びプレゼン技術									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習】				
オリジナルプリント対応									
回	授業計画				回	授業計画			
1	【授業テーマ】 9/28 メールの設定をする。(アカウントの取得、アドレス帳への登録、署名の作成) ビジネスメールの基本形を覚える。(宛先、挨拶文、名乗り、本文、結び、署名)				9	【授業テーマ】 12/7 PowerPointの特性を理解し、わかりやすいプレゼン資料を作成する。			
	【到達目標】 パソコンの基本操作(ログイン、フォルダ作成、シャットダウン等) インターネットに接続し、メールの設定および送信する。 授業を振り返りメールで報告する。 小テスト:3点					【到達目標】 見やすいスライド作成のポイント(統一感、色合い)を理解する。 テーマの設定 読みやすい文字(フォントサイズ、書体、色)を学ぶ。文章を箇条書きや図式化する。 授業を振り返りメールで報告する。 小テスト:3点			
2	【授業テーマ】 10/5 カナ、英字、数字が混在した文字列をスムーズに入力する。 文字入力における便利な機能を学び、効率よく文字入力する。 正確に速く入力する。				10	【授業テーマ】 12/14 スライドに様々なオブジェクトを挿入する。 画面切替設定やアニメーションを設定し、スライドショーを実行する。			
	【到達目標】 再変換機能やファンクションキー、IMEツールバー活用し、効率よく文字を入力する。 5分間で150文字を目標とする。タイピング練習サイトを活用する。 顧客台帳を間違えずに入力する。 授業を振り返りメールで報告する。 小テスト:3点					【到達目標】 画像・ワードアート・スクリーンショット・テキストボックスの挿入 画面切り替え設定、アニメーションの設定、スライドショーの実行 授業を振り返りメールで報告する。 小テスト:3点			
3	【授業テーマ】 10/12 ビジネスメールの必要性和そのルールを理解する。 詐欺メールの見分け方				11	【授業テーマ】 12/21 これまで学んだ機能を使い、プレゼンテーションファイルを作成する。			
	【到達目標】 宛先、CC、BCCの使い分けやネチケットを学ぶ。 返信メールの使い分け(引用返信と引用のない返信) 詐欺メールの見分け方や対策方法を知る。 授業を振り返りメールで報告する。 小テスト:3点					【到達目標】 スライドで使用する素材や情報を集め、わかりやすいスライドを作成する。 授業を振り返りメールで報告する。 小テスト:3点			
4	【授業テーマ】 10/19 シーンに合わせたメールの使い分けができる。 ファイルや通信の容量について				12	【授業テーマ】 1/18 これまで学んだ機能を使い、プレゼンテーションファイルを作成する。			
	【到達目標】 お客様へのご案内メール、上司への報告メール、クレーム対応メール等 画像やHDD、通信の容量について学び、それぞれ用途に適したサイズを理解する。 添付ファイルのサイズを意識して送信する。(ファイルのサイズ変更) 授業を振り返りメールで報告する。 小テスト:3点					【到達目標】 スライドで使用する素材や情報を集め、わかりやすいスライドを作成する。 授業を振り返りメールで報告する。 小テスト:3点			
5	【授業テーマ】 10/26 一般的なビジネス文書の形式や配置を覚える。 入力補助機能を利用して、効率よく文書を作成する。				13	【授業テーマ】 1/25 これまで学んだ機能を使い、プレゼンテーションファイルを作成する。 スライドショーに目次をつける。			
	【到達目標】 日付の挿入、挨拶文の挿入、入力オートフォーマット、配置、 フォントサイズ、タブとリーダー、インデント、箇条書き、保存 授業を振り返りメールで報告する。 小テスト:3点					【到達目標】 スライドで使用する素材や情報を集め、わかりやすいスライドを作成する。 目次スライドの作成やスライド番号の設定 授業を振り返りメールで報告する。 小テスト:3点			
6	【授業テーマ】 11/2 表や画像が配置されたビジネス文書を作成する。 セキュリティを意識した保存方法を学ぶ。				14	【授業テーマ】 2/1 発表技術を磨く。 プレゼンテーションファイルを完成させる。			
	【到達目標】 表の挿入および表ツールの活用、図の挿入および図ツールの活用 PDF形式で保存する、パスワードを設定する。 授業を振り返りメールで報告する。 小テスト:6点					【到達目標】 発表する時の態度、話し方、心構え、準備を学ぶ。 聞き手の態度から感情を読み解く。 授業を振り返りメールで報告する。 小テスト:6点			
7	【授業テーマ】 11/16 Microsoft Office Excelで基本的な表作成ができる。 受発注の書類の流れを理解し、見積書や請求書を作成する。				15	【定期試験内容】 2/8 イベントのご案内スライドを作成する。 データベースから条件に合ったデータを検索する。ファイルを添付してメールを送信する。			
	【到達目標】 データおよび数式の入力、オートフィル、罫線、セルの書式設定、印刷 表を元にグラフを作成し、データを分析する。 PDF形式で保存する。 授業を振り返りメールで報告する。 小テスト:3点					【評価項目とフィードバック】 わかりやすいスライドショーを作成する。 正しい検索条件を設定する。 状況設定に応じたメールを送信する。			
8	【授業テーマ】 11/23 データベースとは何かを理解し、データを活用できる。				【成績評価の方法と基準】				
	【到達目標】 データベース機能(並べ替え、抽出) タックシールに宛名印刷(EXCELのデータをWORDで差し込み印刷) 授業を振り返りメールで報告する。 小テスト:5点				●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
【履修に当たっての心構え・留意点】									
授業出席、遅刻の管理と指導 忘れ物、授業態度の指導 パソコン操作に必要なID、パスワードの管理									

講義シラバス									
科目名	ネイル検定対策	必修 選択の別	必修	開講 区分	3S(前期)	授業 形態	演習	総時間数	150 時間
学科	トータルビューティ科			コース	ネイルコース	学年	2年生		
講師名	大窪 史子	講師プロフィール	日本ネイリスト協会本部認定講師。2011年ネイルアトリエnipccipをオープン、サロンワーク・ネイル技術の指導のほか、セミナー講師、ネイルエキスポやビューティワールドジャパンなどのネイルブースでのデモを行うなど、活動の幅を広げている。全日本ネイリスト選手権上位入賞経験あり。						
【授業を通じての到達目標】									
ネイリスト技能検定1級合格レベルの技能と知識を身につける。									
【学習内容】									
ネイリスト技能検定1級の実技課題である、ナチュラルスカルプチュア・チップオーバーレイの装着手順と構造を学ぶ。 効率よく安定感のあるテクニックを身につけ、異なる技法のイクステンションを同じ仕上がりにも揃える。									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習】				
ネイル教材一式、筆記用具、JNAテクニカルシステムベーシック、ノート					検定試験に向けた自主練習・筆記演習				
回	授業計画			回	授業計画				
1	【授業テーマ】 ナチュラルスカルプチュアの完成度を上げる(ピンチングとファイリング)			9	【授業テーマ】 全工程の完成度を上げる。 テーブルセッティングの確認。				
	【到達目標】 硬化の順番とタイミングを考慮しながら、凹凸のない状態でピンチングを入れる。 ファイリング手順を細かく区切って練習し、完成度の高いイクステンションを完成させる。				【到達目標】 検定実技全工程を通して練習し、完成度を上げる。 苦手工程を集中して練習し、改善する。 テーブルセッティングのチェックを受け、準備物などの確認をする。				
2	【授業テーマ】 ナチュラルスカルプチュアの完成度を上げる(ハイシャイン、時間配分の設定)			10	【授業テーマ】 全工程の完成度を上げる。				
	【到達目標】 ハイシャイン仕上げる方法を習得し、イクステンションの完成度を上げる。 目標とする時間配分を設定する。				【到達目標】 検定実技全工程を通して練習し、完成度を上げる。 統一感と時間重視で仕上げる。				
3	【授業テーマ】 チップオーバーレイの構造と施術手順を学ぶ。 ナチュラルスカルプチュアと同じ仕上がりにする。			11	【授業テーマ】 検定に向け、最終チェック				
	【到達目標】 チップオーバーレイの装着手順を学ぶ。 ミクスチュアの大きさや質をコントロールしながら、ナチュラルスカルプチュアと揃えた仕上がりにする。				【到達目標】 検定実技全工程を安定感のある施術で時間内に仕上げ、自信を持って臨む準備を整える。				
4	【授業テーマ】 チップオーバーレイの構造と施術手順を学ぶ。 ナチュラルスカルプチュアと同じ仕上がりにする。			12	【授業テーマ】 検定を振り返りつぎの目標を確認する.. 異なる技法のイクステンションとの共通点と相違点を知り、ナチュラルスカルプチュアの構造と装着手順への理解を深める。				
	【到達目標】 時間内にナチュラルスカルプチュアとチップオーバーレイを数本揃えて仕上げる。 アプリケーション重視。				【到達目標】 デザインスカルプチュアのバリエーションを習得する。 ホワイトミクスチュアに慣れる(フレンチスカルプチュア1ボール目の練習)				
5	【授業テーマ】 ナチュラルスカルプチュアとチップオーバーレイを同じ仕上がりにする。			13	【授業テーマ】 異なる技法のイクステンションとの共通点と相違点を知り、ナチュラルスカルプチュアの構造と装着手順への理解を深める。				
	【到達目標】 時間内にナチュラルスカルプチュアとチップオーバーレイを数本揃えて仕上げる。 揃えて仕上げるためのファイリング手順の確認。				【到達目標】 デザインスカルプチュアのバリエーションを習得する。 フレンチスカルプチュアアプリケーション練習。				
6	【授業テーマ】 ナチュラルスカルプチュアとチップオーバーレイを同じ仕上がりにする。			14	【授業テーマ】 ナチュラルスカルプチュアとチップオーバーレイの完成度を上げる				
	【到達目標】 時間内にナチュラルスカルプチュアとチップオーバーレイを数本揃えて仕上げる。 統一感とハイシャイン重視。				【到達目標】 フレンチスカルプチュア手順を参考にして、より高いレベルのアプリケーションにする。 検定アートのデザインを決定する。				
7	【授業テーマ】 全工程施術の流れと時間管理に慣れる。			15	【定期試験内容】 ナチュラルスカルプチュア、チップオーバーレイ、フレンチスカルプチュアを装着する。 異なる技法のイクステンションを同じスタイルで仕上げる。				
	【到達目標】 検定アートを含む実技全工程を通して、時間配分を確認する。 練習の必要な工程を明確にする。				【評価項目とフィードバック】 アウトライン、厚み、Cカーブの深さ、スマイルライン、左右対称				
8	【授業テーマ】 全工程施術の流れと時間管理に慣れる。			【成績評価の方法と基準】					
	【到達目標】 苦手な工程を集中練習し完成度を上げる。 時間配分を守りながら施術することに慣れる。			●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。					
【履修に当たっての心構え・留意点】									
授業開始までにテーブルセッティングを済ませておく。 施術の妨げとならないよう、顔にかかる髪はまとめる、とめる等、ヘアスタイルに留意する。									